

浜っ子だより



平成22年6月 4日
南知多町立豊浜小学校

やっと初夏らしい日が続くようになり、クールビズ（さわやかサマースタイル）が気持ちのよい季節になりましたね。今週は好天続きで、各学年で予定されていた行事も順調にすすんでいます。来週は修学旅行です。若草山登山も計画されていますので、何とか好天になりますように...（祈）。

5年生が“田植え”をしました（6/3）



絶好の天候に恵まれ、5年生が“もっちり田んぼ”（豊丘の八町谷にお借りしている田んぼ）への田植え体験を行いました。今年も、NPOふるさと創生の会の滝本さんご夫婦をはじめ、6名もの皆さんにご指導いただきました。

田植えの方法を説明いただいた後、教育実習生の久保田先生が、見本をやって見せてくれました。（初体験ということだったけど、なかなか上手だったね。）

子どもたちは、裸足で泥に入って、それぞれに分担された区画に植えていきました。指導してくれた滝本さんや石黒

さんは、「毎年、じょうずになるね～」とほめてくれましたよ。（一度に植える苗の量は、人それぞれでしたけどね。）

指導者の一人で、若い青年が話しかけてきました。教え子でした。うれしかったな～。名古屋で美容師をやっていたそうですが、地元で農業を継ごうと帰ってきてくれたようです。（懐かしい話にも、花が咲きましたよ。）

子どもたちは、充実した顔をして学校に帰ってきました。子どもたちの植えたお米が、たわわに実る秋が本当に楽しみにになりました...。



2年生が豊浜の“町探検”をしました（6/3）

2年生が楽しみにしていた「豊浜町探検」が行われました。5年生の田植えを見学した後、急いでお世話になった全ての場所を回りました。子どもたちに会えなかった場所もありましたが、7カ所中（いちごの丘、ブランシュール、豊浜の煎餅屋さん、鯛祭り広場、まるは新館、さかな広場、家田製菓）5カ所で、子どもたちの様子を見ることができましたよ。みんな、生き生きと、とっても楽しそうでしたよ。

『まるは新館』では、私が顔を出すと「校長先生、でっかいヒラメがいるよ～。」「サメもいる～」と、うれしそうに教えてくれました。まさに、“感動の共有”ですね。



『鯛祭り広場』では、煎餅の試食に精を出していたので、「食べてばっかじゃなく、ちゃんと質問した？」と聞くと、みんな声をそろえて「した～！」と答えました。

『豊浜の煎餅屋さん』から出てきた山本美優さんは、「キムチよりカレー煎餅の方が辛かったよ～」と教えてくれました。（いろいろと試食させていただいたようですね。）

『いちごの丘』では、一通りみんなが質問を終え、澤田龍志さんと與吾胡天さんが、きちんとお礼を言っているところでした。

保護者の皆さんにも、本当にたくさんの方にご協力をいただいて、“安全に楽しく”「町探検」ができました。お忙しい中のご協力に、心よりお礼申し上げます。

付き添っていただいた保護者の方に、終了後に校長室でコーヒーを飲んでいただきました。これまた、華やかでしたね～。盛り上がる盛り上がる。話がいつまでも続きそうでしたよ。(こんな機会を提供するのも、学校の役割なのかもしれないなあと、ちょっと思いました...)



残念ですが、コンビネーション遊具を撤去します...



大変残念です。そして、大変申し訳なく思います...。子どもたちは、今日もコンビネーション遊具で、喜々として遊んでいるのに...

一番大きい遊具は、安全面を配慮し昨年から使用禁止にしていました。その他の2つの遊具も、耐用年数を過ぎ、老朽化が激しくなっています。毎年行われる業者による安全点検でも、「撤去を視野に入れてほしい。」と言われてきました。



ついに、決断しました。解体し、撤去します！(修理には莫大な予算を要するし、毎年修理するランニングコストもばかになりません。)

先日のPTA委員会でも了解いただきましたので、



何とぞご理解をお願い申し上げます。事故が起こってからでは、遅いのです。

今のところ、夏のPTA作業の折りに、草刈りと並行して撤去作業を行えたらと考えています。(何とか一つは、残せないものかと考えていますよ...)

ショートストーリー！

6月3日の掃除の時間、気候のよさで草木も元気いっぱいです。少し剪定をしてやろうと、中庭にある草木の枝を少しだけ払いました。切られた枝を片付けようとしてみると、6年生の吉田 結さんと大岩加奈さんが、片付けを手伝ってくれました。とても、うれしかったよ。ありがとう。

「気づき・考え・実行する」というのは、「青少年赤十字」の基本精神だと先日お話ししましたが、いざ実行へ移すのは難しいものだと思います。少しの気づきと、少しの奉仕の心があれば、もっと日本がよくなりますね。きっと...

6月3日の昼放課「校長先生～」と子どもの大きな声が響きました。何かな？と出て行くと、小さな鯉が死んでいるとのこと。さっそく、田中 潤くん、滝本純正くん、坂野文哉くんと一緒にお墓をつくることにしました。鯉を埋め、土を盛り上げ、上に珊瑚を置きました。4人で手を合わせ、お経を上げました。(子どもたちは、私のお経に笑い出してしまいましたけどね。)

こんな機会をとらえて、ささやかですが命の教育につなげていけたらと思います。

“つまづいたっていいじゃないか 人間だもの”

相田みつを